

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	インテリア基礎	
科目基礎情報							
科目番号		0025		科目区分	専門 / 必修		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修: 1		
開設学科		建築学科		対象学年	2		
開設期		後期		週時間数	後期:2		
教科書/教材		スタイル別にわかるインテリアの基本 新装版 (エクスナレッジ)					
担当教員		青木 哲					
到達目標							
以下の項目を目標としています。 ① 色彩などの知識を活用できる ② 空間を豊かにするインテリアを創造的に組み立てる ③ プレゼンテーション能力を養う 岐阜高専ディプロマポリシー: (A)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
以下の項目を目標としています。 ① 色彩などの知識を活用できる		学習した表現技術について十分に理解し、活用できる。		学習した表現技術について理解し、ほぼ活用できる。		学習した表現技術について理解できず、活用できない。	
② 空間を豊かにするインテリアを創造的に組み立てる		テーマに対応した創造的な優れたデザインを作成できる。		テーマに対応した創造的なデザインを、作成できる。		テーマに対応したデザインを、作成できない。	
③ プレゼンテーション能力を養う		創意工夫を持って丁寧に作業し、非常に美しく分かりやすい作品を作成することができる。		創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することができる。		創意工夫や丁寧な作業ができず、分かりやすい作品を作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		生活に身近なインテリアについて、表現手法や提案方法を学ぶ。					
授業の進め方・方法		授業では、課題の作成と模型の作製を通じて表現を学ぶ。 (事前準備の学習) 空間デザイン基礎の復習をしておくこと。 英語導入計画: Technical terms					
注意点		三次元の表現技術を習得するためのトレーニングとして、常に建築・空間・家具等を意識して体験・観察することが重要である。 また、積極的に建築・デザインの雑誌など目を通して感性養うと同時に、表現技術の参考とすること。 課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。 授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の1～10%を減じた値で評価する。具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点(%)を対応させる 学習・到達目標: (D-2 情報・論理系) 100%					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	色彩・カラーコーディネートに関する基礎知識		色彩・カラーコーディネートに関する基礎知識が理解できる		
		2週	カラーコーディネート課題 1 (ALのレベルC)		カラーコーディネート課題ができる		
		3週	カラーコーディネート課題 1 (ALのレベルC)		カラーコーディネート課題ができる		
		4週	プレゼンテーションボードの作り方		プレゼンテーションボードが作成できる		
		5週	プレゼンテーションボードの制作 1 (ALのレベルC)		プレゼンテーションボードが作成できる		
		6週	プレゼンテーションボードの制作 2 (ALのレベルC)		プレゼンテーションボードが作成できる		
		7週	プレゼンテーションボードの制作 3 (ALのレベルC)		プレゼンテーションボードが作成できる		
		8週	課題の趣旨の説明、造形の基礎		課題の趣旨、造形の基礎が理解できる		
	4thQ	9週	道具の使い方、平面から立体へ		道具の使い方を理解し、平面から立体が考えられる		
		10週	建築模型の基礎 (ALのレベルC)		適切な材料を用いてモデリングができる		
		11週	建築模型の作製 (ALのレベルC)		適切な材料を用いてモデリングができる		
		12週	建築模型の作製 (ALのレベルC)		適切な材料を用いてモデリングができる		
		13週	建築模型の作製 (ALのレベルC)		適切な材料を用いてモデリングができる		
		14週	建築模型の作製 (ALのレベルC)		適切な材料を用いてモデリングができる		
		15週	作品の講評会		他の学生の作品も見てより理解を広める		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	環境・設備	表色系について説明できる。		2	
				色彩計画の概念を知っている。		2	
			設計・製図	各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。		3	
評価割合							
			課題		合計		
総合評価割合			100		100		

得点	100	100
----	-----	-----